



令和4年度

浦添市まちづくりアカデミー

事業報告書

令和5年2月

主 催:浦添市 市民部 市民協働・男女共同参画課
受 託:特定非営利活動法人シンコペーション

～ 目次 ～

1	浦添市まちづくりアカデミー概要と実施状況	1
2	目標の達成状況	2
3	講座の記録	4～37

〔参考資料〕

1	受講者募集チラシ及び講座内容・日程	38
2	浦添市まちづくりアカデミー実施要綱	40
3	令和4年度浦添市まちづくりアカデミー定期講座実施要領	43

※本報告書は、受託団体 特定非営利活動法人シンコーペーションの事業完了報告書を
基に、当課にて一部加筆・修正を加えたものです。

1 浦添市まちづくりアカデミー概要と実施状況

(1) 概要

本市では、平成 30 年 3 月に策定した第四次浦添市まちづくり生涯推進基本計画において、『まちづくり協働』による『共生・循環型社会』の実現』を取組方針として掲げ、『てだこ市民大学』の拡充と講座の充実』を取組内容の一つとした。

平成 30 年度、「てだこ市民大学」における 10 年間の実績を踏まえ、まちづくり協働に必要な知識及び手法を実践的に学ぶ「大学院」について検討した結果、令和元年度に「浦添市まちづくりアカデミー」を開設することとなった。

令和 3 年度より事業の民間委託を実施し、令和 4 年度は「特定非営利活動法人シンコペーション」の受託により、本市と協働で開催した。

(2) 実施状況

【目的】

まちづくり生涯学習と市民協働の推進を図るため、市民が市民協働に対する理解をより深め、その取組に必要な知識及び手法並びにその実践についてともに学ぶ

【期間及び講座数】

令和 4 年 8 月 25 日から 12 月 7 日まで（全 8 回）

【対象者】

本市のまちづくり生涯学習及び市民協働に関心のある者。

市外在住の場合、本市のまちづくりに取り組む意欲のある者。

【定員及び受講人数】

定員 30 名に対し 23 名の申込。20 代から 60 代の幅広い年代の方が参加した。

【受講者の年代別人数及び平均年齢】

年代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	合計	平均年齢
人数	2	6	5	7	3	23	46.3 歳

（単位：人）

開講式での市長とのトークセッション、第 2 回講座、第 3 回講座では、実際に市民協働の活動をしている個人、団体、企業（法人）、行政の話を聞き、市民協働とはどういうものを学び、活動についてのイメージづくりを行った。

第 4 回講座ではイベント体験に向けてワークショップを行い、受講者の興味・関心のあること、持っている資源、ネットワークを利用した内容で開催することを決定した。

講座がない期間は、SNS を用いて連絡を取り合い、受講者各自ができる準備を行うことで、第 5 回講座での直前準備につなげることができた。また、準備と並行して様々な

活動を知ること、受講者の申し出によりハロウィンに向けたお菓子のフードドライブを実施するなど、受講者同士の協働活動や意識の向上が始まっていた。

第6回講座のイベント体験では、受講者の積極的な関わりがあり、前日準備から片付けまでスムーズに行うことができた。また、受講者の勤務先のご協力により、会場の提供および社内でのフードドライブを実施していただき、企業との協働にもつながった。多くの来場者から好評をいただき、受講者は市民協働の達成感を得ることができた。

第7回講座ではイベント振り返りを行い、受講者同士で良かった点、改善点を共有した。また、まちづくりプラン助成金交付事業とリンクさせたことにより、今後の市民協働への意欲につながった。

閉講式では、本事業全体の振り返りと、本市の市民協働への取り組みについて説明を行った。受講証書授与とともに受講者それぞれの背景や思いが汲み取れる言葉によって全員の決意表明を行い、本講座のテーマである「人と地域とゆるやかにつながる」を確認し終了した。

2 目標の達成状況

【テーマ】

人と地域と、ゆるやかにつながる

地域の課題に気づき、共有する方法を学び、周りを巻き込みながらゆるやかに地域とつながる「まちづくり協働人材」を目指す。

【成果目標】

- ①受講者が地域の課題を自らの問題として捉えることができるようになること
- ②受講者が協働によるまちづくりにゆるやかに関わること
- ③まちづくり協働を理解し取り組む市民等がゆるやかにつながり合うこと

受講者のアンケートより、講座を通して社会課題に対して活動する人々の姿に刺激を受けたことが伺える。開講当初は「すごい活動をしている人がいる」と感じている受講者も、回を重ね、イベントを経験することで、たくさんの人とつながることで自分も協働者になれる事に気づくことができた。

アカデミー受講期間中に7割以上の受講者が市民活動を行っていることから、講座を通して活動意欲が高まっていることの表れであり、全講座終了時には、受講者の多くが、今後も「主体的、積極的に市民協働に関わりたい」と考えている。さらに、「情報収集や勉強をしたい」と生涯学習への意欲も感じられる。

まちづくりプランへの応募には消極的な受講者が多くみられたが、イベントの振り返りやまちづくりプランへの応募方法の説明で応募意欲も高まり、8割程が何らかの形で応募したいと考えるように変化した。

講座開催中や閉講式の後などに、講師や自分の活動に関りがりそうな受講者に積極的に声をかけたり、立ち上がった SNS のグループを継続したりと、今後もつながり合うことが期待される。

以上のことから、今回の浦添市まちづくりアカデミーの目標は概ね達成できたと考える。

〔業務委託仕様書 成果指標の達成状況〕

項目	指標	結果	達成率
①受講者数（最終値）	25 名	23 名	92%
②まちづくりプラン助成金交付事業への応募検討 受講者数	受講者数（最終値） の五分の一程度	13 名	283%
③定期講座以外での市民活動の実施 または参加 受講者数	受講者数（最終値） の二分の一程度	11 名	96%
④受講満足度	80%	93%	116%
⑤今後のまちづくり協働への意欲度	80%	100%	125%

※②～⑤受託団体実施のアンケートより（n=15）

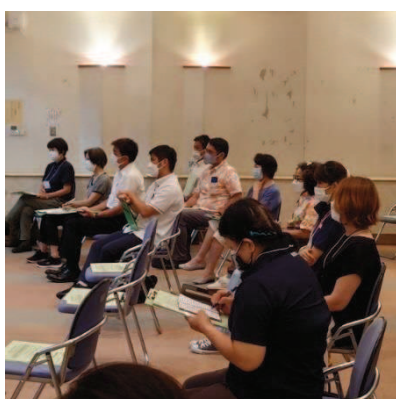
3 講座の記録

令和4年度浦添市まちづくりアカデミー 講座一覧

回	日時	内容	講師等	参加人数
1	8/25 (木) 19:00~21:00	開講式 トークセッション ～哲治の部屋 in アカデミー～ 「次世代につなぐ ひとつ づくり まちづくり」	トークセッション 松本哲治市長（浦添市まちづく りアカデミー学長） 平敷雅氏（沖縄 VONS レオクラブ・ 学生団体 VONS） 池原千佳子（特定非営利活動法 人シンコペーション）	27 名 （受講者 15 名、公開講 座参加者 5 名、その他 7 名）
2	9/7 (水) 19:00~21:00	～市民協働とは？～ 「社会課題解決のために」 すでに協働活動を実践され ている方々の生の声を聞き、 協働が身近なものである ことを学ぶ。	松島朝也氏（コロナに負ける な！いきなりプロジェクト実行委 員長） 脇詞音氏・池田茉奈氏（学生 団体 VONS） ゴージャス理枝氏（女性を元気 にする会代表・那覇市民協働大使） 奥平智子氏（フードバンクセカ ンドハーベスト代表理事）	20 名 （受講者 17 名、登壇者 関係者 3 名）
3	9/21 (水) 19:00~21:00	～企業・行政の協働事例～ 企業・行政も社会課題解決 のために動いている！ プロボノ、CSR そして ICT の 力を活かした協働を学ぶ。	村野勝子氏（株式会社オーディ フ代表取締役社長） 力宗 寛行 氏（沖縄日立ネッ トワークシステムズ） 川島淳氏・島袋若奈氏（浦添 市市民部男女共同参画課） 池原千佳子（特定非営利活動法 人シンコペーション）	17 名
4	10/5 (水) 19:00~21:00	市民協働をデザインする イベントのプランを立てよう	自分たちのできることを考 え、市民協働のイベントを考 える	12 名
5	11/2 (水) 19:00~21:00	イベントに向けての実践活 動	イベントを実行するための計 画を作成する	14 名
6	11/6 (日) 11:00~15:00	イベント開催 「地域を元気に！みんなで 一緒にちむどんどん」	受講生が企画したイベントの実 施 場所：サンエーパルコシティ Lounge-T	190 名 （受講者 18 名、スタッ フ 3 名、来 場者 169 名）
7	11/16 (水) 19:00~21:00	まとめのワークショップ	イベントを振り返り、今後の 活動について議論する	11 名
8	12/7 (水) 19:00~21:00	発表と閉講式	年間成果と次年度に向けて決 意表明を行う	14 名

令和4年度浦添市まちづくりアカデミー 講座報告書

第1回講座	
日時	令和4年8月25日(木) 19:00～21:00
テーマ	開講式 トークセッション～哲治の部屋 in アカデミー～ 「次世代につなぐ ひとづくり まちづくり」
講師	松本哲治市長(浦添市まちづくりアカデミー学長) 平敷 雅氏(沖縄 VONS レオクラブ・学生団体 VONS) 池原千佳子(特定非営利活動法人シンコーペーション 代表)
会場	浦添市市民協働・男女協働参画ハーモニーセンターホール
参加人数	アカデミー受講者:15名 公開講座参加者:5名 行政:7名
講座内容 (概要)	開講式及びトークセッションは、公開講座として行った。 トークセッション 平敷氏 2020年アメリカ留学中に、新型コロナ感染拡大のため、留学が中断となり帰国した。コロナ禍で沖縄の子どもたちが食べるものがないという状況を見聞きし、アメリカ留学中に目にしたフードドネーション活動を実施するための団体を立ち上げることを思いついた。活動が始めるには大きな壁があり、軌道に乗せるために、周りの多くの大人や那覇市役所の方、市民協働大使の方々にサポートしてもらうことができた。学生がもっと気軽にボランティア活動できるよう、手続きの簡素化や企業の協力があるといい。今後は、高校生が自分たちで企画して活動できるような仕組みづくりに取り組んでいきたい。 池原 特定非営利活動法人シンコーペーションでは、こども食堂や食糧支援のボランティア、本物の音楽に触れさせる体験、児童センターで様々な体験を通じた健全育成のほか、大人の生涯学習などを行っている。たくさんの方からの支援があり、その支援・思いを子どもたちにつなげている。同じ思いを持った人たちとの心のつながりが、活動を継続する支えとなっている。 松本市長 アメリカでは遊びに行く感覚で子どもの頃からボランティアをする環境がある。日本では学生と企業をつなぐ大人の存在が活動を円滑に行う方法の一つではないか。まちづくりにはいろいろあるが、行政も職員それぞれがまちづくり協働の意識をもって仕事にあたると最高であるように、市民が楽しそうなまちをめざすと皆が幸せになれるのではないかな。 三者の話から、活動をする中での壁を乗り越えたり、継続したりするために

	は、人と人とのつながりが大切であり、楽しく活動していくことが、更に活動を広げることができるということを伝えることができた。
参加者の声	・とても良かったです。フランクにボランティアを楽しんでいるのを見聞きして、頼もしく感じました。お互いに頑張っていきましょう。 ・「まちづくり」の中で自分たちに何ができるのか？何をすべきか改めて考えさせられました。 ・学生さんの熱いエネルギー、パワーをひしひしと感じました。雅さんの行動力がとても素晴らしく私たち大人も頑張っていけないといけないなあと思いました。 （一部抜粋）
写真	     

浦添市まちづくりアカデミー 第1回講座 アンケート

日時：令和4年8月25日（木） 19：00～21：00

場所：浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター

1. 属性

まちづくりアカデミー受講者 13 件

公開講座参加者 4 件

2. お住まい

浦添市 13 件 浦添市以外（4 件 八重瀬町・中城村・西原町・那覇市）

3. 年齢

10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代以上
0	1	2	5	5	4

4. 講座について

満足	やや満足	やや不満	不満
16（94%）	1（6%）	0	0

5. あなたの市民協働のイメージはどのようなものですか

- ・一人一人ができることをささげていく
- ・地域を育てていきたい
- ・多様な主体が同じ目的を持ってそれぞれの特性を活かし、補い合いながら協力すること。チームになること。
- ・地域での人のつながりの中でお互いに協働することで人材、地域を作り上げる。
- ・ボランティア・社会貢献
- ・気軽なようでとても難しい。難しいようで気軽なもの。
- ・強いおもいをもった仲間が集まり活動する。
- ・市民目線で市民の課題を解決していく姿
- ・人、地域、行政などがゆるやかにつながれているイメージ。
- ・地域で活動している方々が地域課題を解決する」話し合いの場
- ・那覇市でやっているもののようなイメージ（なは協働大使でもあります何故か・・・）
- ・初めよくわからなかったが、お話を伺ううちに、皆が意識高く取り組みれば素晴らしい活動になると思いました。
- ・いちやりばチャョーデー
- ・市民協働←少し硬く感じます。 実際に何をしたいのか思い踏みとどまってしまう。
- ・市民と行政が共に地域の課題に取り組む。難しいイメージ
- ・行政と市民が一緒に課題に取り組む。言葉だけだと難しい感じ。

6. 今日の話を聞いてあなたにできそうだったことはどんなことですか

- ・小さなことですが、人と人を紹介したり、支えていく
- ・今やっている 子ども食堂を少しずつ広げていける。ボランティアを育てていくために。
- ・学生と協働していくこと その接点を作ること。
- ・大学生のボランティア活動を通して社会協働参加する話を聞き楽しく食糧支援とかできそうですね。
- ・活動を広げる。単作り
- ・できることは何だろうと思いました。
- ・近所の高校生とボランティアについて話してみたいと思いました。
- ・私に何ができるか？模索したいと思います。
- ・現在子ども達と関わる仕事をしていますが、様々な方の活動を伺いながら、コロナの中での活動を考えていきたいです。
- ・自分なりにフードドライブに参加していきたいです。
- ・つなげる
- ・人に伝えていく
- ・何ができるのか、まだ模索中です。2回目、3回目と参加していく中で、小さなことでも何ができるか見つけたいと思います。
- ・私たち団体が取り組んでいることを下の世代に繋げていくこと。これからの講座を通して様々な立場の方の話を参考に自分にできることを考えて取り組んでいきたい。

7. ご意見・ご感想など

- ・すごく良かったです。学ぶことが多かったです。
- ・若者の気持ちを聞けて良かった。
- ・人と地域の緩やかなつながりが感じられた。
- ・シンコペーション（池原さん、屋良さん）の活動を知れて良かったです。
- ・雅さん、松本市長、池原さんとの3人のかけあいが面白かったです。ありがとうございます。
- ・とても良かったです。フランクにボランティアを楽しんで行ってるのを見聞きして頼もしく感じました。お互いに頑張っていきましょう
- ・アカデミー受講者の皆様とコミュニケーションをはかりたい。
- ・元気になりました。楽しいお話やすごいなーと思うことがたくさんありました。
- ・刺激を受けてチムドンドンしました。
- ・後半大変おもしろかったです。「まちづくり」の中で自分たちに何ができるのか？何をすべきか改めて考えさせられました。
- ・若い子が立ち上げるという勇気行動力に感動 パワーもらいました。
- ・本日は素晴らしい会をありがとうございます。熱くたぎる思い受け取りました。
- ・次回参加がとても楽しみです。
- ・学生さんの熱いエネルギー、パワーをひしひしと感じました。雅さんの行動力がとても素晴らしく私たち大人も頑張っていないといけないなあと感じました。
- ・雅さんの“まずやってみよう”精神がとても素晴らしいと思いました。私もまだ動くことが怖いと感じることが多いですが、“まず一歩”踏み出してみようと思います。今日は貴重なお話が聞けて良かったです。ありがとうございます。

令和 4 年度浦添市まちづくりアカデミー 講座報告書

第 2 回講座	
日時	令和 4 年 9 月 7 日（水）19：00～21：00
テーマ	市民協働とは？ 「社会課題解決のために」すでに協働活動を実践されている方々の生の声を聞き、協働が身近なものであることを学ぶ
講師	松島朝也氏（コロナに負けるな！いきなりプロジェクト実行委員長） 脇詞音氏・池田茉奈氏（沖縄 VONS レオクラブ・学生団体 VONS） 奥平智子氏（特定非営利活動法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄代表理事） ゴージャス理枝氏（女性を元気にする会代表・那覇市民協働大使）
会場	浦添市市民協働・男女協働参画ハーモニーセンターホール
参加人数	アカデミー受講者：17 名 登壇者関係者：3 名
講座内容 （概要）	市民協働活動を実践している 4 団体・5 氏から話を聞いた。 松島氏 新型コロナウイルス蔓延により、生活が大変になっている人が身近に増え、何とかしたいという思いから食糧支援活動を開始した。原資はゼロの状態からスタート。口コミや、共催のシンクセッションと付き合いのある支援団体、企業、個人から助けてもらい集めた。全 10 回の活動で、のべ 2019 名に支援することができた。行政や社協と連携し聞き取りを行うことで、さらなる支援へつなげることもできた。多くの方の協働で活動を行うことができた。 脇氏・池田氏 平敷氏（前回登壇者）の熱い想いに賛同した県費留学生同期や学生たちによりフードドライブ活動をスタートした。学業をしながらの活動は、企業との打ち合わせ時間や活動場所の確保など多くの困難がある。学生がボランティアをすることに、社会にもっと理解があるといい。現在はフードドライブ活動以外にも、学習支援や子どもたちの交流イベント、SDGs 学習会など、子どもたちを育む活動も行っている。大人だけでなく、学生も一緒に SDGs の 17 番目の目標である「パートナーシップで目標を達成しよう」を実現していくことが大切だと考える。 奥平氏 テレビで、日本初のフードバンク団体セカンド・ハーベストの活動を見たことをきっかけに活動を開始した。「もったいないをありがとうへ」をスローガンに、食品企業や生産者等または個人などから無償で提供された食品を、沖縄県内で食品を必要とする個人世帯へ支援窓口や施設団体を通して無償で提供する活動を行っている。沖縄県労働者福祉基金協会と連携し、活動を手伝ってもらうことで、就労体験場所を提供することができている。預かった食品を使っていただく方へ安心して届ける役割も担っている。活動を知った企業が長年社内でフードドライブをして提供してくださるなど、ゆる

	やかに長くつながることができている。協働での活動には、SDG s の目指すゴール 17 番目の「パートナーシップで目標を達成する」ことが一番大切だと考えている。 ゴージャス氏 「食料支援で繋がる困窮世帯！負の連鎖を断ち切り一歩前進」 生活に追われる母親にワンコインで「美」を提供するイベントを開催したことをきっかけに、困窮世帯のいろいろな声が届くようになってきた。様々な協力により、イベントは無料で行えるようになり、イベント会場で行ったフードドライブにはたくさんの食糧を提供してもらえた。次第に個人的に SOS が届くようになり、個別の食糧支援活動をするようになった。コロナ禍でその数は急増している。支援時の個別の聞き取りを特にだいにしている、必要な場合はすぐに行政や関係機関につなげている。食糧支援はつながるきっかけであり、つながることで一歩を踏み出すきっかけを提供できればと思っている。 話を聞いた後、グループに分かれ感想を共有した。また、登壇者にも輪に入ってもらい、受講者と直接対話した。
参加者の声	・それぞれの活動をされている方ですが、皆さんの活動を通して目指している部分（根の部分）が共通していると感じました。今回の講座も日頃なかなか聞くことができない貴重な機会となりました。ありがとうございました。 ・物資は確かに必要だが、心のケアや人とのかかわり、ビジネスを創る、お金の教育もこれからの沖縄に必要だと感じました。 ・素晴らしい取り組みばかりで、生の声を聴けて大変有意義で心に残る時間となりました。次回も楽しみです。（一部抜粋）
写真	    

浦添市まちづくりアカデミー 第2回講座 アンケート

日時：令和4年9月7日（水） 19：00～21：00

場所：浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター

1. 属性

まちづくりアカデミー受講者 17件

登壇者関係者 3件

2. 年齢

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
0	1	6	5	4	4

3. 講座について

満足	やや満足	やや不満	不満	未記入
15 (75%)	2 (10%)	0	0	3 (15%)

4. 今日話を聞いてあなたにできそうだったことはどんなことですか

- ・ SNS で、この活動があることを広める。その際に、食糧や日用品などの物資を届けることはすぐにでもできることを伝える。
- ・ NTT 西日本さんが行っている企業でのフードバンク活動を社内でも取り組みたい
- ・ 支援物資の仕分けやその他作業のお手伝いが大変だろうと感じるので、できる限り参加したいと感じました。
- ・ 子どもの支援を通しての繋がり
- ・ 自分なりの貧困社会へのかかわり方、解決方法を何か考え始めること。
- ・ まずは私でもできるフード提供や寄付を始めたいと思いました。
- ・ フードロス、買いすぎない、腐らさない。家庭の中でもできることがあるなと思いました。
- ・ できることは何でもやりたいです。声かけてください。
- ・ 相談できずに困っている人たちへ情報を共有したい。イベント参加、協力。
- ・ 地域の子どもたちに目を向けること。おや？と思ったら行動する。フードドライブの情報を探し、自分も参加する。
- ・ 食育→植育！！1人ひとりがロスしないような食べ方を。食べられる植物を育てる。
- ・ 多様性も学んでいこうと思いました。
- ・ もっと視野を広げ気づき、伝えること。
- ・ もったいないを通して支援活動につなげること。
- ・ 何ができるのかこれから考えてみたいと思いました。
- ・ ボランティアへの理解
- ・ 職場で一度だけフードバンクに取り組みました。でも、様々な考え方の中で継続することが難しくなり、一度きりの活動になりました。今日話を聞いて、もう一度取り組んでいこうかなと思っています。

5. ご意見・ご感想など

- ・学生団体の皆様を毎回アカデミーの中に入れてほしいです。非常に刺激になります。
- ・1つの団体で運営するのは職員の負担が大きすぎると思います。拠点、役割を地域全体に広げて継続しやすい環境作りが今後必要ではないかと思いました。地域の為に動き続ける団体の方達にも感謝いたします。日々の活動お疲れ様です。
- ・それぞれの活動をされている方ですが、皆さんの活動を通して目指している部分（根の部分）が共通しているなと感じました。今回の講座も日頃なかなか聞くことができない貴重な機会となりました。ありがとうございました。
- ・物資は確かに必要だが、心のケアや人とのかかわり、ビジネスを創る、お金の教育もこれからの沖縄に必要だと感じました。
- ・すばらしい取り組みばかりで、生の声を聴けて大変有意義で心に残る時間となりました。次回も楽しみです。
- ・学生さんのパワーもすごく感じたし、感心しました。
- ・とても楽しくてそして心が温かくなりました。そして次回ものすごくプレッシャーです。
- ・ゴージャス理枝さんの活動はTVを見て知っていました。今回お話を聞いて、直接支援者に会ってお渡しすることがとても大事で、支援者の心の支援になっていることがとても良いと思いました。
- ・物流って大変…。ワンストップでできることは？多岐に渡る活動をやりがいと意義を持ちながらスムーズに行うために。パートナーシップの大切さをまずは家庭から広げたい。
- ・特に学生の方たちの意識の高さは素晴らしいと思いました。いろいろな方の支援の活動も聞けて勉強になりました。
- ・学生さんが動き、直接子どもたちとつながるということは、子どもにとってとても大事な経験。きっとそれが夢を育むことにもなるんだろうなと思いました。
- ・ゴージャスさんの食糧支援はつながるきっかけという言葉が印象に残りました。
- ・素晴らしい活動のお話を聞けてとても感動しました。行動できるって素晴らしい。
- ・多方面で活動している方々のお話を聞くことができて良かった。SDGsの“17”「パートナーシップで目標を達成しよう」を中心に考えてボランティアや活動力にしていることを改めて感じた。
- ・継続は力なりです。地域の課題も含め、フードバンクの継続を考え直してみたいです。
- ・ありがとうございました。
- ・池原館長が素晴らしい活動をされていることは承知しておりましたが、他にも幅広い年齢や職業の方々が活動しておられるのを知り、感動しました。このような機会を頂いて、いろいろ知ることができて感謝します。

令和 4 年度浦添市まちづくりアカデミー 講座報告書

第 3 回講座	
日時	令和 4 年 9 月 21 日（水）19：00～21：00
テーマ	企業・行政の協働事例 企業・行政のプロボノ、CSR, ICT の力を活かした協働を学ぶ
講師	村野勝子氏（株式会社オーディフ代表取締役社長） 力宗寛行氏（沖縄日立ネットワークシステムズ株式会社） 川島淳氏・島袋若奈氏（浦添市市民部市民協働・男女共同参画課） 池原千佳子（特定非営利活動法人シンコペーション）
会場	浦添市市民協働・男女協働参画ハーモニーセンターホール
参加人数	アカデミー受講者：17 名
講座内容 （概要）	企業・法人・行政の立場から協働について話を聞いた。 村野氏 学校給食をはじめ安心・安全な食を提供する企業として、食に関する知識や豊かな食を伝えることを使命と感じ、社会貢献活動に取り組んでいる。旧盆にこども食堂へジュースを提供したり、管理栄養士が保育園で食育をしたりすることは、社員のモチベーション向上にもつながっている。 力宗氏 現状では、困難を抱える人への対応は、子どもと大人では対応する行政の部署が違っていたり、行政、学校、社協などそれぞれが個別に情報を持っていたりする。ICT を利用し、生活困難に陥る人の課題を共有できるようなネットワーク構築を目指している。今後、金融リテラシー教育のシステム等を開発し、若い世代が生活困難に陥らないような教育を行うことを検討している。IT 技術は生活をちょっと便利するツールであり、世界中とつながることができるが、最後は人と人とのつながりが大切であると思っている。 川島氏・島袋氏 市民協働は手段であって、目的ではない。人と人をつなぐことが大切であり、なんだか楽しそうと思えるとみな参加しやすいのではないかな。 本市での市民協働の施策としては、まず、まちづくりプラン助成金交付事業があり、多くの方にチャレンジしてもらいたい。また、市民活動団体登録することにより、情報を広く提供し、ハーモニーセンターの先行予約や減免制度などがある。11 月に開催する市民協働とまなびのフェスタ浦添では、生涯学習や地域の課題解決に向けた活動を紹介することで、市民に市民協働とまなびのきっかけづくりの場を提供している。 池原 当法人が行っている活動は、それぞれが行政、地域、企業、中間支援団体、

	有志団体、ボランティア等との協働で行っている。活動するための資金や物資は、助成や寄付でまかなうことになるが、「ヒト・カネ・モノ」を循環させるためには、情報収集やいろいろな人とのつながりが大切である。 話を聞いた後、グループに分かれ感想を共有した。また、登壇者にも輪に入ってもらい、受講者と直接対話した。
参加者の声	・今回も企業の取り組みについて学べ、勉強になりました。ITの使用についても今後はもっと活用し便利になりより良い支援ができていければと思いました。私も市民協働に参加していることに改めて気が付かされ今後も頑張っていこうと思いました。 ・正直今回参加するまで「市民協働」という言葉を認識しておらず勉強になっています。今私がやっている活動から何を広げていけるのか考えイメージ中です。 ・企業の社会貢献にとっても興味深く聞かせていただきました。学校でボランティアをしていると両親ともに早く出勤するため朝食抜きで登校する子どもたちもいます。深く関われないことを残念に思いながら何かしてあげられることはないか模索中です。毎回興味深いお話をありがとうございます。 ・今回とても素晴らしい内容でとても感動しました。企業・行政共に協力することで活動内容が大きく豊かになることがわかりました。本当にありがとうございました。 （一部抜粋）
写真	

浦添市まちづくりアカデミー 第3回講座 アンケート

日時：令和4年9月21日（水） 19：00～21：00

場所：浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター

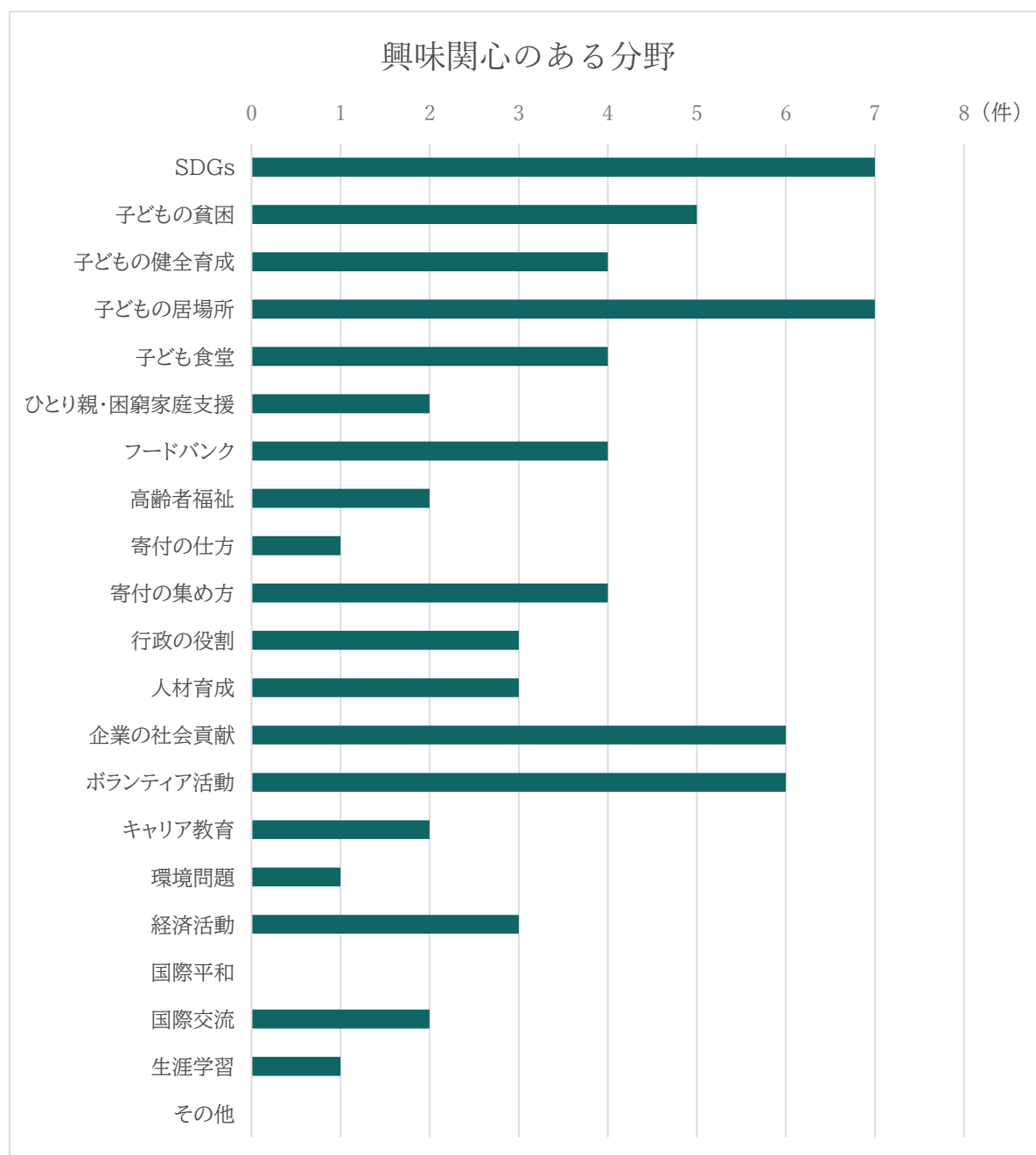
回答 13 件

1. 今回の講座について

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
11 (85%)	0	0	0	2 (15%)

2. 第1回から第3回の講座を受講して、どのような分野に興味を持ちましたか。

また、普段から関心のある分野はありますか。下記より上位5つを選んでください。

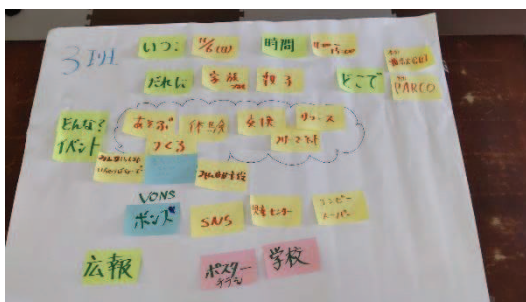
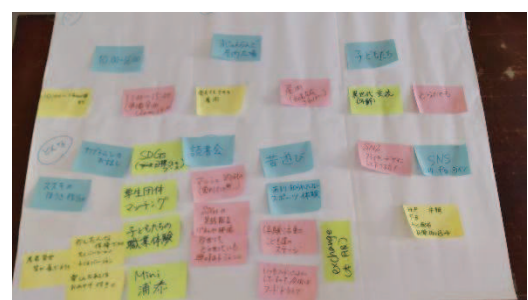
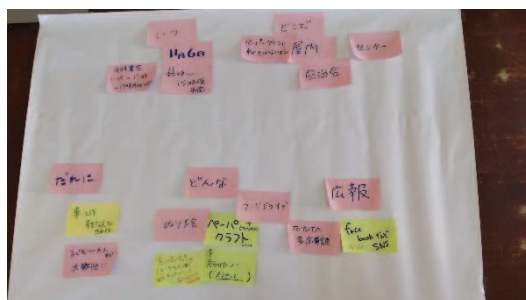


3. ご意見・ご感想など（イベント案などありましたら併せてお書きください）

- ・すごく人とのつながりが人を救うきっかけになるのかな。と思いました。
 - ・10月はハロウィンがあります。アカデミーの皆様でフードバンクのような形でお菓子を集めてゴージャスさんにお渡ししたいです。
 - ・川島さんのお話で、協働が少し身近に感じることができました。島袋さんの「出来ることを少しずつ」気持ちが楽になりました。
 - ・お疲れさまでした！今回も楽しい内容でした。
 - ・今回も企業の取り組みについて学べ、勉強になりました。ITの使用についても今後はもっと活用し便利になりより良い支援ができていければと思いました。私も市民協働に参加していることに改めて気が付かされ今後も頑張っていこうと思いました。
 - ・正直今回参加するまで「市民協働」という言葉を認識しておらず勉強になっています。今私がやっている活動から何を広げていけるのか考えイメージ中です。
 - ・企業の社会貢献にとっても興味深く聞かせていただきました。学校でボランティアをしていると両親ともに早く出勤するため朝食抜きで登校する子どもたちもいます。深く関われないことを残念に思いながら何かしてあげられることはないか模索中です。毎回興味深いお話をありがとうございます。
 - ・今回とても素晴らしい内容でとても感動しました。企業・行政共に協力することで活動内容が大きく豊かになることがわかりました。本当にありがとうございました。
 - ・今回は企業行政団体それぞれの立場の話を聞くことができてよかったです。支援していたっている企業様の想いを直接聞くことができて、私たちはその思いを子どもたちや保護者に伝えていかないといけない（なかなか伝わらない現状）と改めて感じました。ITも活用することで活動の幅がより広がることを実感しました。
 - ・つながることでできる市民参加！何ができるのだろうか学ぶ機会になりました。
 - ・本日もありがとうございました。ワンストップで上手くいった例を聞きたかったです。給食のオーガニック化は可能なのか？ 稲を育てる、植物を育てる→そこからの居場所創りがあってもいい。
- SDGs ダンス楽しかったよー。

令和4年度浦添市まちづくりアカデミー 講座報告書

第4回講座	
日時	令和4年10月5日(水) 19:00~21:00
テーマ	市民協働をデザインする。イベントのプランを立てよう。
進行	屋良百合(特定非営利活動法人シンコペーション)
会場	浦添市市民協働・男女協働参画ハーモニーセンターホール
参加人数	アカデミー受講者: 12名
講座内容 (概要)	グループごとに自己紹介。 各グループで「いつ」「どこで」「だれに(対象者)」「どんな」「広報」の視点で意見を出し合い、イベントの内容を検討した。 受講者から出たアイデアをすべて取り込んだイベントを実施体験することを決定した。 いつ: 11/6(日) 11時~15時 どこで: サンエーパルコシティ Lounge-T(受講者の勤務先へ協働の声掛け) だれに: みんな どなたでも どんな: ペーパークラフト(小学生以上)、塗り絵、吹きゴマ、木のおもちゃ、昔あそび(お手玉・けん玉など)、マッチング(VONSの活動紹介)、SDGs(目標ごとのブース)読書コーナー、フードドライブ 広報: フライヤーは受講者のWEBデザイナーが作成 学校・児童センター・公共施設・コンビニなどにポスター、チラシ配布 SNSで拡散 ※受講者からの呼びかけで、ハロウィンに向けたお菓子のフードドライブを行い、たくさんのお菓子の提供があった。(第2回登壇者ゴージャス理枝氏に寄贈)



受講者感想	・皆で協力して来場者全員が楽しめるようなことをやってみたいです。 ・みんなで楽しいイベントができそう。準備～当日まで頑張ります！ ・来場者が楽しめるイベントにしたいです。もちろん、私たちが一番楽しめます。 ・場所もすばらしい所が予定されてワクワクしています。みんなで協力しながらイベントができることが楽しみです。 ・毎回ありがとうございます。机上の空論にならず、実践までできちゃうのがすごすぎます。 ・イベント企画って苦手と思ったけど、進行がうまくてイメージがわいてきました。ありがとうございます。 (一部抜粋)
写真	

浦添市まちづくりアカデミー 第4回講座 アンケート

日時：令和4年10月5日（水） 19:00～21:00

場所：浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター

1. 今回の講座について

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
8 (89%)	0	0	0	1 (11%)

2. イベントへ向けての意気込み

- ・しっかりと準備してイベントに向かいたいと思います。
- ・全力投球で頑張ります
- ・わくわくしてきました
- ・提供できるものは少ないですが、やる気と気持ちでがんばりまーす♡
- ・当日沖縄にいない可能性があります、皆の力でよいものになると感じています。
- ・皆で協力して来場者全員が楽しめるようなことをやってみたいです。
- ・みんなで楽しいイベントができそう。準備～当日まで頑張ります！
- ・来場者が楽しめるイベントにしたいです。もちろん、私たちが一番楽しみます。
- ・場所もすばらしい所が予定されてワクワクしています。みんなで協力し合いながらイベントができることが楽しみです。

3. ご意見・ご感想など

- ・一歩踏み出したようでうれしいです。
- ・どうぞよろしくお願いします。
- ・トヨタさんのご協力大きいですね。事務局の皆様色々に本当にお疲れ様です。
- ・毎回ありがとうございます。机上の空論にならず、実践までできちゃうのがすごすぎます。
- ・イベント企画って苦手と思ったけど、進行がうまくてイメージがわいてきました。ありがとうございます。
- ・イベントの形がみえてきたので楽しみです。
- ・シングルマザーの方等、貧困の子どもという言葉は使いたくありませんが、そういった状況の子どもたちもイベントに遊びに来られたら良いと思います。

令和4年度浦添市まちづくりアカデミー 講座報告書

第5回講座	
日時	令和4年11月2日（水）19：00～21：00
テーマ	イベントに向けての実践活動
進行	屋良百合（特定非営利活動法人シンコペーション）
会場	浦添市市民協働・男女協働参画ハーモニーセンターホール
参加人数	アカデミー受講者：14名
講座内容 （概要）	LINE チャットグループ機能を利用し、イベント名、担当希望ブースを決定していた。 担当ブースごとにイベントの準備を行った。 イベント名「地域を元気に！みんなで一緒にちむどんどん」
受講者感想	・イベントに参加された子どもたちに、おかしなどのプレゼントをするのは可能でしょうか？ ・参加するみなさんと一緒に準備をすることで、それぞれの持ち味を活かして進めることができたので良かったです。本番（当日）が楽しみです。 ・1つのイベントに向けてみんなで協力して事前準備から携わることで、これまでと違った形のものができそうだと今から楽しみです。 ・短い期間ですが、当日皆さんと協力してイベント頑張ります。準備等本当にお疲れ様です。ありがとうございます。子どもたちの笑顔が当日あふれますように！ （一部抜粋）
写真	

浦添市まちづくりアカデミー 第5回講座 アンケート

日時：令和4年11月2日（水） 19：00～21：00

場所：浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター

1. 今回の講座について

満足	やや満足	やや不満	不満
10（83%）	2（17%）	0	0

2. 本日の講座に参加して「みんなで一緒にちむどんどん」へのイメージはつかめましたか？

はい	なんとなく	まだ
10（83%）	2（17%）	0

3. ご意見・ご感想など

- ・ぬりえ、クラフトブースは完成出来たら、ごほうび的なおかしなどがあると子どもたちががんばれるかもしれません。
- ・イベントに参加された子どもたちに、おかしなどのプレゼントをするのは可能でしょうか？
- ・参加するみなさんと一緒に準備をすることで、それぞれの持ち味を活かして進めることができたので良かったです。本番（当日）が楽しみです。
- ・1つのイベントに向けてみんなで協力して事前準備から携わることで、これまでと違った形のものができそうだと今から楽しみです。
- ・短い期間ですが、当日皆さんと協力してイベント頑張ります。準備等本当にお疲れ様です。ありがとうございます。子どもたちの笑顔が当日あふれますように！
- ・皆さんと一緒に準備をしたり談笑しながら当日のイベントちむどんどんしながら頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。
- ・みんなで協力しながら作業をして楽しかったです。当日楽しみです。
- ・先日地域コーディネーターのCS会議で、地域の活性化とは一人ひとりが「地域に愛着を持つこと！」という言葉にストンと心に落ちてきました。今やっているまちづくりアカデミーのようなことをひとりひとり特技や得意なことをいかして、次のだれかへとペイフォワードしていく事がまちづくりにつながっていくのではと感じました。
- ・当日担当木のおもちゃコーナーになりました。ありがとうございます。今日は「吹きこま」の印付け作業をしました。皆様と色々ゆんたくしながら手を動かすのがとても楽しかったです。
- ・楽しいイベントになるよう、事前準備をしっかり行い楽しみます。
- ・子どもたちから感想をいただきたいです。当日流すモニターでシンコペーションさんの音楽コンサートを流してほしいです。